

府、DX人材 育成を支援

企業・求職者 受講者募る

京都府は、新型コロナウイルス禍でニーズが高まる企業のDX(デジタルトランスフォーメーション)人材育成を支援するプログラムを初めて実施する。企業と求職者向けの2コースで、ともに3日から受講者を募集する。

府と生涯現役クリエイティブセンター(京都市下京区)、テレワーク推進センター(同)が連携し、関西学院大が開発したAI(人工知能)活用人材育成プログラムを使ってオンラインで行う。社内人材の育成を目指す企業向けは、15社程度の参加を想定している。先着順。プログラムは「AI活用データサイエンス入門」など3テーマを用意する。受講者は希望するテーマを選べる。参加費は11万円からで、補助制度がある。申し込み受け付けは12月末まで。求職者は参加無料で、約20時間の「AI活用入門」を受講する。府は企業説明会を開催し、就職をサポートする。参加枠は20人で、希望者多数の場合抽選。申し込み受け付けは6月30日まで。

企業は生涯現役クリエイティブセンター075(741)8600へ。0への相談が必要。求職者はテレワーク推進センターのホームページから申し込む。(笹井勇佑)